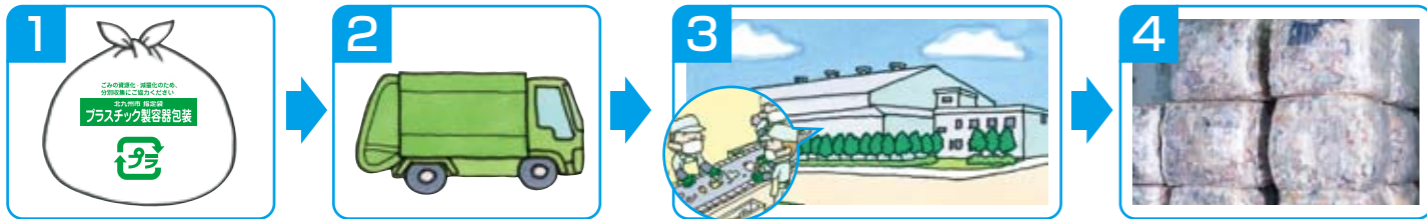




? ところが知りたい! プラ分別後のゆくえ

みんなががんばって分別したプラスチック製容器包装は... 包装はいったいどこでどのように利用されているのでしょうか?



1 市民の皆さんが分別したプラスチック製容器包装は...

2 市が収集して

3 選別施設(北九州市プラスチック資源化センター)で異物などを取り除き

4 リサイクル工場に運搬しやすいように大きなサイコロ状に固めます(ペール)

リサイクル 工場へ

リサイクルの方法と事業者の選定について

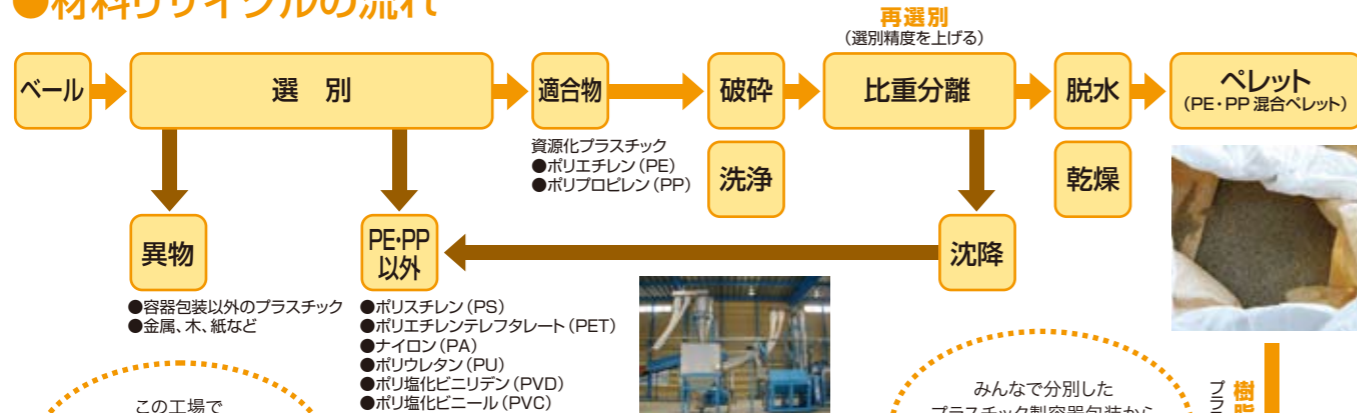
プラスチック製容器包装のリサイクル方法は、容器包装リサイクル法で定められており、リサイクルを行う事業者についても、国が指定した法人(財団法人 日本容器包装リサイクル協会)が、毎年入札により決定します。北九州市内にも、プラスチック製容器包装のリサイクルを行う事業者が操業しており、容器包装リサイクル法に定める方法により適正にリサイクルを実施しています。

株式会社 イマナガ

再資源化100%を目指して

「いかなる廃棄物も資源として再利用できる」を理念に、日々邁進しています。収集運搬から中間処理まで一貫したシステムにより、再資源化100%を目指します。

●材料リサイクルの流れ



この工場ではリサイクルできないプラスチックは、セメント工場などに送られ、有効活用しているんだよ

セメント製造工場 製鋼工場

みんなで分別したプラスチック製容器包装から新しいプラスチック製品ができていますね!

樹脂成形メーカーへプラスチックペレットなどの原料として使用

■施設見学のご案内

株式会社 イマナガ

〒800-0115 北九州市門司区新門司3丁目38番2号
TEL: 093-481-5097 FAX: 093-481-5098

※見学には事前のお申込みが必要となります。
※10名様を超える場合は、ご相談下さい。



プラスチックペレット

プラスチック製木

新日本製鐵株式会社 八幡製鐵所

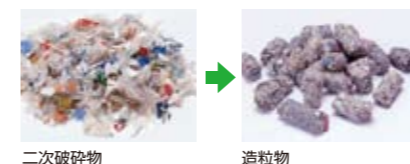
リサイクルによる省資源・省エネの実現へ

新日本製鐵は市民、自治体、関係団体の皆様とともに資源循環型社会の確立を目指します。容器包装リサイクル法の完全施行に伴い、プラスチック製容器包装の再商品化を推進します。

●ケミカルリサイクルの流れ

事前処理工程

プラスチック(ペール)を、コークス炉へ投入可能な品質、形状にするために異物除去、減容成形します。

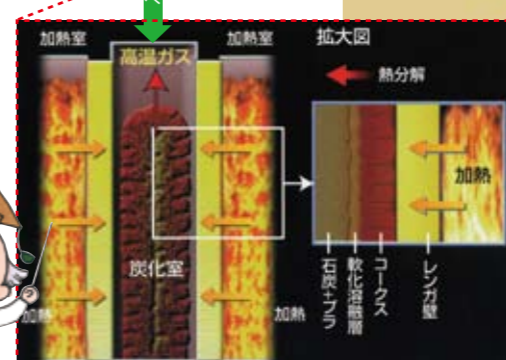
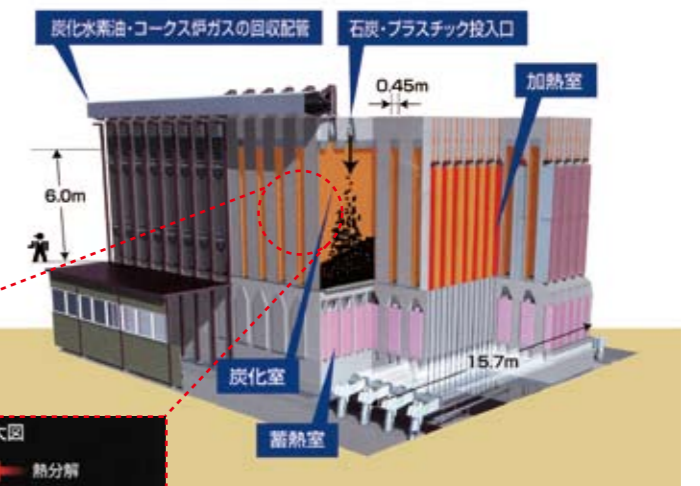


二次破砕物

造粒物

燃やしているのではなく化学的に熱分解させてプラスチック原料やコークスなどを製造しているんですよ!

コークス炉に入れてど〜するの?



再商品化利用例

再商品化された炭化水素油、コークス、コークス炉ガスは、それぞれ製鉄所内にある化学工場、高炉、発電所で有効利用します。

40% 炭化水素油は化成工場でプラスチック原料などに再商品化

20% コークスは排熱回収後に高炉へ投入し鉄鉱石の還元剤として利用

40% コークス炉ガスは製鉄所内の発電所等で利用(水素、メタンが主成分である燃料ガス)

■施設見学のご案内

新日本製鐵株式会社 八幡製鐵所 製鉄部プラスチックリサイクルグループ

〒804-8501 北九州市戸畑区飛幡町1番1号
TEL: 093-672-2151 FAX: 093-672-2160

※見学には10日前までのお申込みが必要となります。
※30名様を超える場合は、ご相談下さい。